



# しらみず

いわき市立白水小学校  
学校便り 第2号  
平成28年5月6日  
発行者 校長 遠藤隆宏

## 平成28年度 第1回授業参観 ありがとうございました。

4月22日に、本年度第1回目の授業参観を行いました。  
年度初めのお忙しいところ、すべての保護者の皆様にご来校いただき、児童の授業の様子を見ていただきました。本当にありがとうございました。

5、6年生は社会科の授業を行いました。

地図と地球儀の違いから、いろいろな地図の見方について学習していました。

4年生は算数の授業を行いました。

角の大きさの比べ方について学び、直角をもとにして角の大小比較について学習を進めました。

2年生も、算数の授業でした。

文章問題からたし算の式を作り、たされる数とたす数を入れ替えても答えは変わらないことに気付かせる学習でした。

7名の子どもたちは、新年度を迎え、ひとつ上の学年に進級し、しっかりと学習に励んでいました。

授業での約束や学習の仕方等について、これから指導し、さらに子どもたちが生き生きと学ぶ授業づくりについて取り組んでいきたいと考えています。

保護者の皆様、地域の皆様、どうぞよろしく願いいたします。



## 平成28年度 白水小学校PTA組織

授業参観後にPTA総会を実施し、本年度のPTA組織が以下のように決定しました。

PTAの皆様には、様々な面でご協力をお願いすることになるかと思いますが、子どもたちのために、どうぞよろしく願いいたします。



< PTA総会の様子 >

職名	氏名	備考
会長	林 利幸 様	
副会長	若松 晶子 様	
庶務・会計	高木 加奈子 様	
	佐々木 豊	本校教頭
監査	林 絢子 様	
顧問	遠藤 隆宏	本校校長

## 平成28年度 白水小学校経営方針①

### 児童第一主義 ~for the shiramizu seven~

PTA総会の折に、本年度の白水小学校の経営方針をお話させていただきました。

まず、7名の子どもたちを大切にすることです。

学校の主役は子どもです。7名の子どもが安心して登校し、楽しんで生活し、しっかりと学ぶことが、学校の土台となるものと考えます。

学校の様々な教育活動の判断基準は、「子どものためプラスになることかどうか」です。

## ◇ 4月から5月はじめの出来事

### ○ 全国学力・学習状況調査・・・4月19日

日本中の小学校6年生(地震の影響により熊本県の一部を除く)がこの日に、学力検査に臨みました。

白水小学校でも3名の6年生がこれまでの学習の成果を生かして国語・算数の学力検査を受けました。

算数では、小学校1年生の問題が出題されるなど、問題の出題範囲も広い検査内容でした。

### ○ 愛校作業・・・4月22日

予定では、前日の21日に行うことになっていましたが、雨天のため順延して翌日の22日に花の苗をプランターに植え替える作業に全校生で取り組みました。

7名の児童で行うために、一人一人の作業内容が多く大変でしたが、子どもたちのがんばりで無事、花を植え替えることができました。

### ○ 避難訓練・・・5月2日

火災発生を想定し、避難訓練を実施しました。

白水小学校は1階教室から直接校庭に避難できるので、避難するまでの時間は1分もかかりませんでした。

今回は、2階の特別教室等にいる場合も想定して実施したいと考えています。

地震や火災の際に、自分の命をどうやって守るかをしっかりと学ぶよう、子どもたちに話しました。



< 4/22 愛校作業の様子 >



< 5/2 避難訓練の様子 >

## ◇ 5月の今後の予定

- 8日(日) PTA奉仕作業(校庭除草)
- 9日(月) 学校評議員会
- 10日(火) 心電図検査
- 11日(水) 運動会予行
- 15日(日) 運動会
- 16日(月) 運動会の振替休業日
- 19日(木) 家庭訪問① 5校時限
- 23日(月) 全校集会(音楽集会)・家庭訪問② 5校時限
- 25日(水) 読み聞かせ・お年寄り宅訪問・お弁当の日・集金日
- 27日(金) 家庭訪問③ お弁当の日
- 29日(日) 日曜参観・プール清掃・お弁当の日
- 30日(月) 日曜参観の振替休業日



5月8日は  
母の日です



## ◇ ノーメディアデーの推進について

いわき市では市内小・中学校で「ノーメディアデー」の推進を呼びかけています。

現代社会では、テレビやインターネット、携帯電話等による情報のやり取りは必要不可欠なものとなっています。

しかし、それらが重視される一方で、じっくりと読書に親しんだり、親子で会話をしたりする時間がどんどんすくなくなりつつあるのも事実です。

また、パソコン、ゲーム機、スマホ等の画面を長時間見ることによる視力の低下や脳に与える影響等も少しずつ明らかになってきました。

先日、研修会の際に、ある保護者のゲーム機に対する子どもへの指導が話題となりました。

その保護者は、子どもがゲームをする時間を「一日30分のチケットを2枚」と決めて子どもに与え、さらに、そのチケットは使わなかった場合は、1枚20円で親が買い取るということを決めたそうです。

その結果、子どもはゲームをする際に、一日2枚使えるところを1枚に節約し、やがて、ゲームをしないでお小遣いをためようと努力するようになったというような話でした。

「ゲームばかりやっていると、勉強しなさい。」と言っても、今の子どもにとっては難しいことかも知れません。子ども自身がゲーム以外のことに興味をもつなど、自分自身でブレーキをかける工夫が必要です。



